

シャジクモ科

イトシャジクモ類

Chara fibrosa group

兵庫県ランク… B

環境省ランク… CR

県内分布

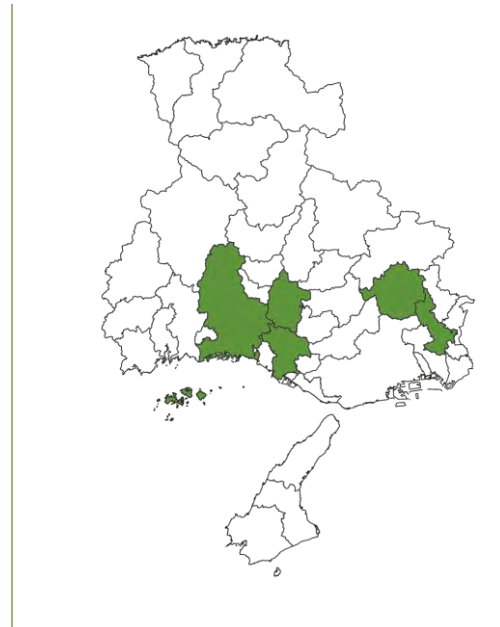
宝塚市、三田市、加古川市、加西市、姫路市

国内分布

本州、四国、九州

選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



特記事項

—

保護上の留意点

ため池の改修の際に注意を要する。



写真提供: 佐藤裕司

種の概要

ケナガシャジクモ(subsp. *benthamii*)、イトシャジクモ(subsp. *gymnopitys*)、エリナガシャジクモ(var. *longicorollata*)を含む。いずれも雌雄同株。主軸(茎)には皮層が発達し、長い棘のような苞と托葉冠もよく発達する。托葉冠は上列のみ輪生し、小枝(輪生枝)と交互に配列する。エリナガシャジクモの藻体は小さく、5-8cm。ケナガシャジクモとイトシャジクモは外見上はほとんど区別できないが、イトシャジクモでは托葉冠の数が小枝の数の2倍ほどあることによって区別される。いずれもため池に生育。